

〒235-0033 横浜市磯子区杉田 5-32-15

Tel: 045-778-1228 Fax: 045-778-6595

e-mail: ibuki@peace.ocn.ne.jp

http://www.lfa.jp/ibuki/



2025年1月4日に  
いぶきは20周年を  
迎えます



## 私たちこんな20歳でした



まだ学生で、将来に何をするのかほとんど考えていなかったと思います。今のような福祉の支援職となることを選択するようになるのはもう少し先のことでした。ロックの中古レコードを蒐集したり、名画座で3本立ての映画を観たりするのが趣味でした。

所長 みぞぶち 溝渕 たけし 崇

初めて車を購入しました。子供の時から貯金と就職してから貯めたお金で購入した大切な宝物です。仕事後に温泉や旅行、休みにディズニーランド等、自分の行動範囲が格段に広がり、オールなんて当たり前。1週間帰宅せず仕事だけは行くという生活をしていました。若気の至りで親にさんざん心配をかけていました。

部長 かこがわまさこ 加古川昌子

自分の20歳のことはあまり言いたくはないのですが、パチスロとバイトしかしていないダメな人間でした。母親からも「家は宿屋じゃないのよ」と言われる始末でした。現在46歳になりますが、あの頃を振り返ってみてみると若いな・・・としか言いようがありません。

立派になったよなあ  
(by 松井)

課長 ほしな 保科 ゆうき 由貴

成人式は小洒落たライトブラウンのスーツにしたのをよく覚えています。そのスーツ姿で今は亡き祖父母と満面の笑みで写真を撮りました。なぜかその写真を見た誰もが「いたいけな老夫婦を騙そうとしているみたい」と酷評。じいちゃん、ばあちゃん、ちゃんと真っ当に生きてます。

課長 わたなべ 渡邊 ふみあき 史朗

私は小学校の教員になるために必死に？勉強をしていました。また学童保育の指導員として子どもと懸命に遊び、一緒に笑ったり泣いたり一喜一憂していた事を思い出します。教育ではなく福祉の道へ進みましたが、あの頃は私の原点のような時代だったと思います。

課長補佐 よしむら 吉村 ともり 智典

思い出せないくらい昔です。バレー部の練習に明け暮れる、これぞ青春！という日々。

親元を離れていたもので何をしても誰にも怒られない自由を手に入れていましたが、田舎者ゆえの失敗もたくさん。怪しい勧誘に引っ掛かり、都会育ちの友人に助けってもらっていました。

課長補佐 のみ 野見 かすこ 和子



## いぶき支援室

### 磯子区後見的支援室 コネクト・ハート



土屋 早苗

## 生活支援



## 厨房 (株KFK)

吉田 亜未

## 日中活動

### スカイウォーク



## グループホームいぶきの家



石井 啓子  
川島 和代  
大山 藍  
北村 祥子

広瀬 悦子  
山崎 舞子

## ドリーム・ホープ



山内 智哉  
菊池 紅音  
幸嶋 剛熙

高森 ゆきえ  
齋藤 恵美子  
佐々木 あづさ

## レインボー



## 総務経理

大西 全子  
伊東 なおみ

## 看護師

上ノ山 美和  
横山 法子

染島 礼子

## ドライバー

中村 勉

## 計画相談



高田 利彦

中村 勉

課長補佐 吉村 智典

部門統括 松井 正志

課長 保科 由貴

部長 加古川 昌子

## 自立生活 アシスタント



## 磯子区基幹 相談支援センター



いぶき  
支援室

高橋 綾子

小野 七恵

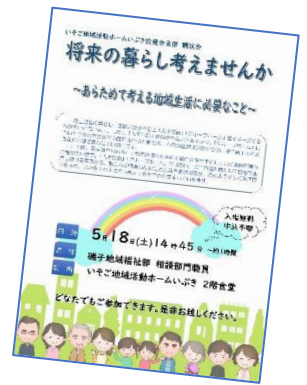
課長補佐 野見 和子

課長 渡邊 史朗

所長 溝渕 崇



# 将来の暮らし考えませんか ～改めて考える地域生活に必要なこと～ 講演会を終えて・・・



いぶき後援会総会の後に「あらためて考える地域生活に必要なこと」と題して講演会を開催いたしました。いぶき相談部門である「基幹相談支援センター」

「後見的支援室コネクト・ハート」「自立生活アシスタント」「計画相談」の職員がこれまでの支援実践で得られた知見から、地域生活の継続に必要なことをお伝えしました。

将来は入所施設かグループホームという生活をイメージされることが多いですが、後見的支援制度や自立生活アシスタントの制度を使って地域生活を送る方をご紹介します、事例から得られたものと

して、「ご本人の生活希望を聞くこと」「ご本人が生活の中でできることの見極め」をご提案いたしました。

当日は 60 名以上の方が来場され、皆様の関心の高さをあらためて感じました。

これからも、障害のある方もない方もみんなが安心して暮らせる地域を目指して、尽力していきたいと思っています。



## 当日のアンケートより

- 実際の事例をふまえたお話で、イメージしやすく、参考になりました。  
自己表出がほとんどできない、より重度の障害者が自宅でサービスを受けつつ暮らし続ける可能性、方法などについて、今後、お話しをお聞きしたいです。
- 「〇〇歳までに」親としてのビジョンがあった方がサポートもスムーズであるというお話がずしんと心に残りました。  
どういことが「できる」「できない」具体例から参考になると感じるころがありました。



## 職員の入退職

|    |        |        |                    |
|----|--------|--------|--------------------|
| 入職 | 5月 1日付 | (基幹相談) | 佐藤 理恵              |
| 退職 | 5月31日付 | (いぶき)  | 渡辺 里美 (基幹相談) 金子 正治 |

## 職員のひとりごと



私の楽しみは、給料日前後で変わります。給料日前は節約で家時間を増やす為、「1ヶ月に1か所掃除ルール」を作りました。最初は気が乗らない掃除も、好きなラジオを流し楽しく進める事で、最終的に綺麗になった光景を見ると何度も見返し、うっとりしています。給料日後は夜勤収入をお楽しみ費にし、そのお金で欲しいものリストから好きな物を買ったり食べたりして、「今月もがんばろう!!」とエネルギーを貯めつつ、楽しめます。



(日中活動支援 大坪紗倉)